

幸福の科学学園チアダンス部

創部4年で世界一

米国の国際大会「中学生の部」総合優勝

2010年に創部した幸福の科学園チアダンス部「Golden Griffin's」(ゴールデン・グリフィンズ)は4月、アメリカ西海岸で開催された第47回ミスダンスドリル米国際大会で中学生の部が総合優勝。高校生の部もボン部門を持って踊る「ボン部門」で準優勝に輝いた。部員のほとんどがチアダンス未経験から始め、短期間でめきめきと上達している。栃木県那須町の学園を訪問し、その強さの秘密に迫った。



笑顔はじける乙女たち

10年開校 全寮制

JR那須塩原駅から車で約30分。学園は那須の自然あふれる広大な敷地内にある。男子寮、女子寮、校舎棟、自修館、体育館など設備は充実。中学、高校合わせて約500人の生徒が寮生活をし、ながら勉強や部活に打ち込んでいます。中でも10年の開校と同時創部したチアダンス部の躍進は目を見張るほど。初年度に7人からスタートした中学の部は、創部4年目の昨年度に「USA Nationals」「ダンスドリル選手権」「JCDAチアダンス」

躍進の原動力はメンバーの一体感



久保田副校長 後の最後に一つになった」と感じて語った。



桜沢正頭顧問 全寮制のため、学生は全国各地から集っており、上村さんは熊本、濱口さんは千葉から入学した。練習は平日が午後3時45分から6時40分まで。土曜は午後2時から6時40分まで、基本的に日曜日がオフとなる。指導は、埼玉県内の女子校でチアダンス部の指導歴がある。

第47回ミスダンスドリル米国際大会の中学生の部で総合優勝した幸福の科学学園チアダンス部。高校生の部も「ボン部門」で準優勝

「全寮制なので、練習後にもしっかりと勉強の時間がありまです。ダンスの環境は整っており、信仰もあるのでチームワークがいい。自分たちの踊りを通して光を届けたいという気持ちが表れている」と桜沢顧問。中学のリーダーとなった徳島県出身の石田愛理さん(中3)も「本当に仲がいい。家族や先輩方が支えてくれる」と感謝した。

「最初はできなくても、2年後、3年後にはできるようになる。全員が大会に出場しています」。桜沢顧問の目は、中高ダブルでの世界大会制覇を見据えていた。

幸福の科学グループ 大川隆法総 裁が創立した幸福の科学学園 中学校・高等学校(喜島克明 校長)は2年連続で東大合格 者を出すなど、進学率も高い。 中高一貫校/2年連続で東大合格者 千葉県内に開学予定。



今年度は本来引退するはずの高校3年生が現役続行することも強みだ。前部長で高3の川端満月さんは「応援してくださる方に感謝の気持ちをお伝えたい」と言う。同じく部に残った前副部



自然あふれる敷地内にある幸福の科学学園